

# 地域の元気をつくるプレミアム人材の育成 —地方国立大学連携の役割—

## 開催主旨

東日本大震災後の日本では、活力をもって持続する社会を目指した変革が強く求められている。こうした中、地方では少子高齢化やコミュニティの衰退に歯止めをかけ、地域社会の再生と発展に寄与しうる人材の育成が急務の課題となっており、「知の拠点」「地域創生拠点」としての国立大学への期待は増している。特に、定型化された職業技能だけでなく、良好な社会形成への寄与という観点から、新しい社会価値を生み出すプレミアムな能力の育成が強く求められる。こうした観点から、大学間連携による「プレミアム人材育成大学群」の形成について議論をした。

日時：平成24年11月12日（月）13時30分～16時30分  
場所：一橋大学 一橋講堂・会議室等（中会議場）（東京都）  
主催：国立大学法人徳島大学、  
地域学系大学・学部等連携協議会  
後援：文部科学省、日本学術会議、国立大学協会

開会 主催者挨拶：徳島大学長 香川 征

## 第一部

基調講演：

「知の地域づくり」と国立大学への期待

慶應義塾大学大学院 教授 片山 善博

話題提供：

大学における人材育成と日本学術会議としての取り組み

奈良大学 教授 碓井 照子

地域再生の核となる大学づくり（COC（Center of Community）構想の推進）について

文部科学省高等教育局大学振興課 課長 池田 貴城

## 第二部

リレープレゼンテーション

「地域学系大学・学部が目指すもの」

① 鳥取大学地域学部 教授（副学部長）藤井 正

「地域学系大学・学部等連携協議会の概要」

② 同上

「地域学の構築と教育体系」

③ 岐阜大学地域科学部 教授 富樫 幸一

「地域社会と連携したフィールドワーク教育」

④ 山形大学地域教育文化学部 教授（副学部長）伊藤 晴郎

「地域の文化振興／震災被災地復興への貢献」

⑤ 宇都宮大学国際学部 教授 中村 真

「グローバル化する地域と多文化共生」

⑥ 金沢大学人間社会学域 教授（地域創造学類長）横山 壽一

「地域創造学類の教育組織とその成果」

⑦ 徳島大学総合科学部 教授（学部長）石川 榮作

「地域科学専攻大学院と地域創生の拠点づくり」

⑧ 北海道教育大学函館校 准教授 小林 真二

「大学コンソーシアムと国内留学の課題」

パネルディスカッション：

「地域の元気をつくるプレミアム人材の育成」

テーマ① 育成すべき人材像

テーマ② 望まれる教育プログラム

テーマ③ 大学間連携の可能性

[コーディネーター]

徳島大学総合科学部 教授 豊田 哲也

[パネリスト]

鳥取大学地域学部 教授 野田 邦弘

北海道教育大学函館校 教授 田中 邦明

徳島大学総合科学部 准教授 田口 太郎

「プレミアム人材」として活躍中の卒業生

岐阜大学卒業、NPO 法人メタセコイアの森の仲間たち代表理事

興膳 健太

金沢大学卒業、(株)富士通総研、北海道大学公共政策学術センター

講師 若生 幸也

閉会 主催者挨拶：岐阜大学地域科学部 教授（地域学系大学・学部等連携協議会の来年度当番校）竹内 章郎

## 概要

本シンポジウムは、本学が地域社会の課題や要請に応えるための地域貢献事業の一環として実施しているもので、第10回目となる今年度は、東日本大震災後の日本において、地域の元気をつくるプレミアム人材の育成をテーマに、地方国立大学連携の役割を取り上げ、約100人の参加者がありました。

第1部では、片山教授から、様々な課題を分析することで地域の解決できる課題が見えてくること、大学が知的な観点から解決を生み出していくことなどの基調講演があり、碓井教授や池田課長からは、人材育成の取組やCOC構想について話題提供をして頂いた。

また、第2部では、地域学系大学・学部等連携協議会を構成する7大学から、連携協議会の目的とこれまでの活動、各大学の特筆すべき取り組みの紹介があった後、プレミアム人材として興膳氏と若生氏をお招きし、討論会が行われ、今後の地域づくりには地域、郷土を理解し愛着を深める人材が求められることや、学生が住民と連携し、地域おこしなどに取り組むカリキュラムの提供が必要であるなどの活発な意見交換が行われた。



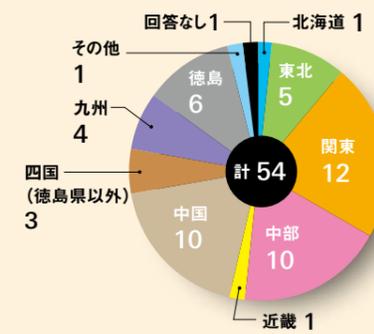
平成24年度 地域交流シンポジウム(大学改革シンポジウム)

# 地域の元気をつくるプレミアム人材の育成 —地方国立大学連携の役割— アンケート集計結果

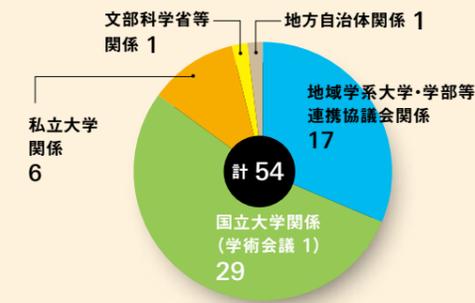
[アンケート実施日・場所]平成24年11月12日(土) 学術総合センター中会議場(東京都)

[回答者数]54人(参加者:約100人/回収率:54%)

貴方の住所をお答え下さい。[単位:人]



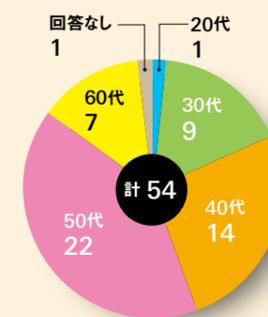
貴方の職業をお答え下さい。[単位:人]



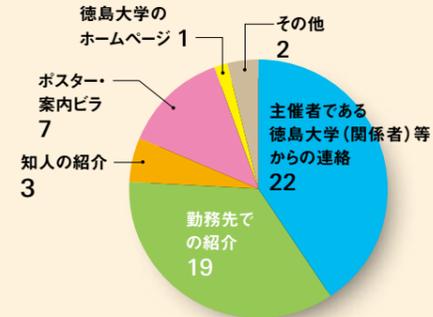
性別をお答え下さい。[単位:人]



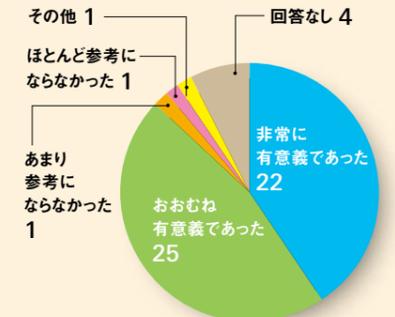
貴方の年齢をお答え下さい。[単位:人]



このシンポジウムの開催をどのようにお知りになりましたか(複数回答可)[単位:人]



シンポジウムの内容は有意義なものでしたか[単位:人]



シンポジウムの内容で関心をお持ちになった点をお書き下さい。

- 将来的にも重要な地域との連携を総合的にどのように進めていく必要があるのか。(現時点でも)課題整理とその対策への参考となった。
- 碓井氏の日本学術会議における地域学分科会設置のとりくみ。
- 地域連携に地域研究が重要である点をあらためて知らされました。コンソーシアムの重要性。
- コンソーシアム同士の連携と「国内留学」の実態と成果について。
- 「人材」のイメージを具体的に得ることができた。
- 実際に社会で活躍する卒業生の「コトバ」。
- 東北復興をテーマとした大学間ネットワークに関わっているため、フィールドワークやインターシップをカリキュラムに組み入れて成果をあげている事例を聞き、参考にさせて頂きたいと思いました。
- 地域で学生を育てる。大学間連携。卒業生の活躍。
- 2人の卒業生(30才ぐらいの若い世代)をパネリストに迎えてのシンポジウムはなかなか面白かった。学生の本音に近い所も伺い知ることができたように思う。
- COCとしての大学の役割、学際的な地域学の位置付け。
- 各大学における具体的な取組事例、卒業生の活動と意見。

シンポジウムあるいは主催者(徳島大学、地域学系大学・学部等連携協議会)に対し、要望やご意見があればお書き下さい。

- 少し地味なので、もう少し目立つプログラムを用意してもいいのではないかと?もっと女性の発題者がいてもいいのではないかと?
- 連携先(自治体等)の話を知りたかった。
- 地域づくりの中核となる人材をしっかりと育てて欲しい。(実践力を伴う人材の育成を)
- 地域政策を担う地方自治体で活躍できる人材を多く育てて欲しい。(期待されている最大のものとするため)
- 継続して、活動と情報発信をお願いしたい。
- 「プレミアム人材」といった言い方がある種のエリート育成「臭」がします。地域を担う多くの「フツー」の人材の育成という観点が必要ではないでしょうか。
- 私大との連携も考えていただけると良いと思いました。
- ぜひ東京や大阪(参加しやすい場所)で毎年シンポジウムをやってほしい。

※アンケート回答者の文言をそのまま記載